取扱説明書

75cm型 CSアンテナ

Model **CS-753S**
〈1衛星受信用1出力型電圧切換コンバータ付〉

Model **CS-757S**
〈1衛星受信用2出力型電圧切換コンバータ付〉

このたびは日本アンテナのCSアンテナをお買い求めいただきましてありがとうございます。

●この説明書と添付の保証書をよくお読みいただき、CS放送をじゅうぶんお楽しみください。

●この説明書は保証書と一緒に保管いただき、ご使用後はいつでも見られるところに必ず保存してください。

●保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。

Model CS-753S
取付部材（別売）

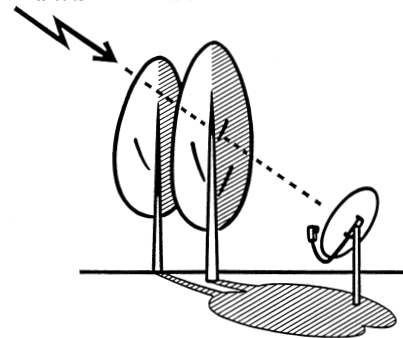
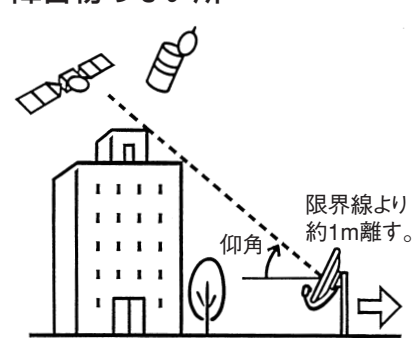
目　次　　　　説明の始まるページ

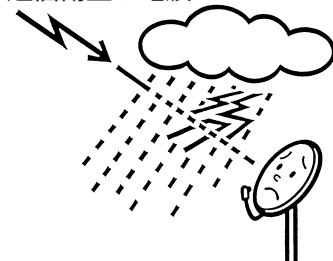
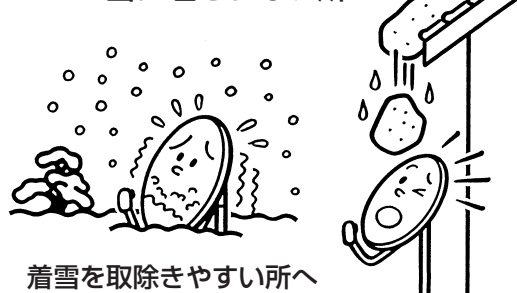
お客様へ　CSアンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保等のため、必ず専門の技術者または、専門業者にお任せください。

❶ CSアンテナ取付の前に

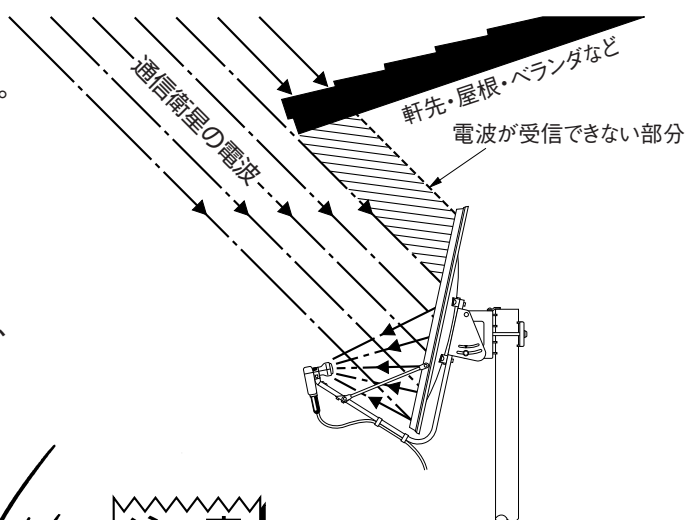
1 CSアンテナの設置場所をよく選ぶ

●電波の到来方向が見通せる場所に設置してください。

受信方向(仰角・方位角)に山、ビル、金網、送電線、鉄塔、樹木等、障害物がありますと受信レベルに影響することがあります。
陰にならない場所を選んで設置してください。

2 気象条件による受信画像の劣化

衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり雪がアンテナに付着すると、電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が出たりひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。
これは気象条件によるものでCSアンテナやCSチューナの故障ではありません。

3 CSアンテナの設置　⚠注意

CSアンテナは従来のアンテナと比べて風の影響を受けやすい形状になっていますので、CSアンテナの取付けるマストおよび取付金具は、しっかり固定してください。
屋上もしくは屋根の上の設置では、地上より風の影響がさらに増大しますので、設置するときには、しっかりした足場で安全を確保したうえで施工してください。落下防止のため、丈夫なヒモでCSアンテナ、取付金具、工具類を結んで作業すると安心です。
また、軒下などにCSアンテナを設置する際、軒先、屋根、ベランダなどによって電波の一部が受信障害を受け、受信に悪影響をおよぼします。
このような場合には、軒先などが受信の障害とならない位置(たとえば前方または下方)にCSアンテナの移設が必要です。

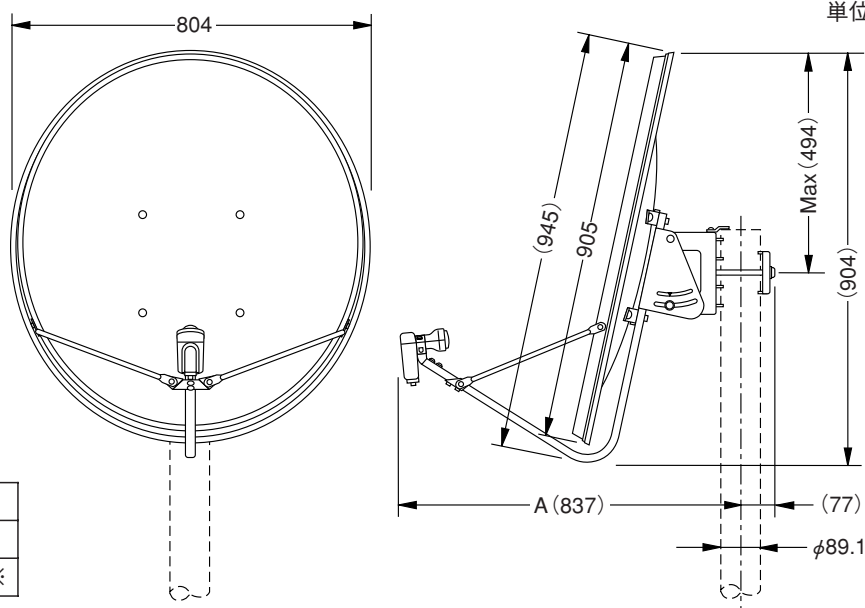
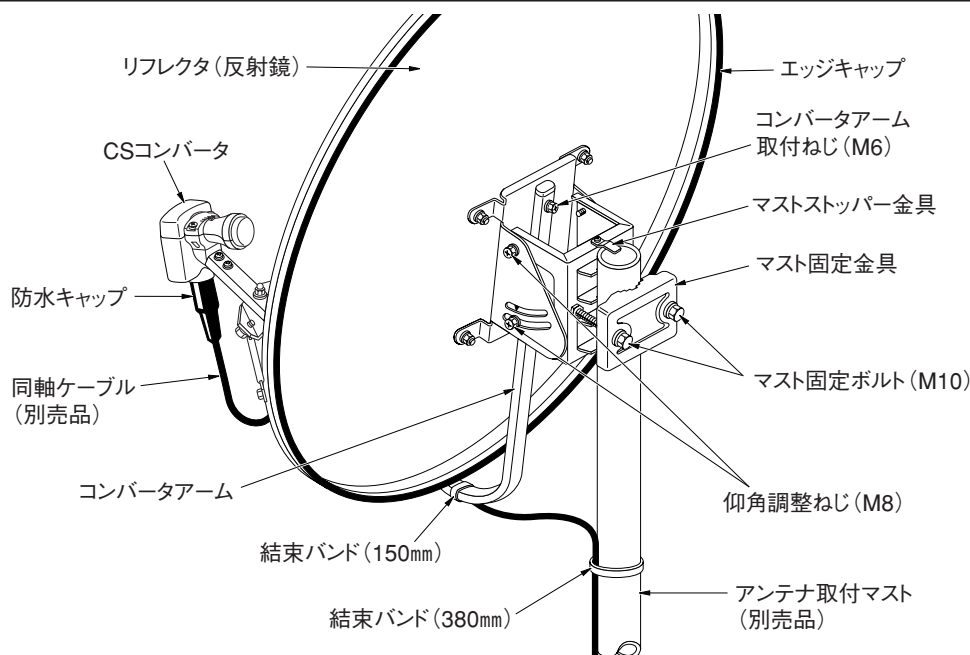
注　意

❷ 外観寸法図

- **CS-753S**
- **CS-757S**

単位：mm

- 本図は、アンテナ仰角45゜の場合。
- 適合マスト径はφ48.6～φ89.1㎜。
- ※印寸法はCS-757Sを示します。

■仰角可変時のアンテナ取付マストの中心から給電部までの寸法。(目安)

	最小値	最大値
仰角調整範囲(゜)	28.0	62.0
A 寸 法 (㎜)	761	870／877※

❸ 各部のなまえと構成部品

●お取り付けの前に下図の部品が間違いなく入っているか、ご確認ください。

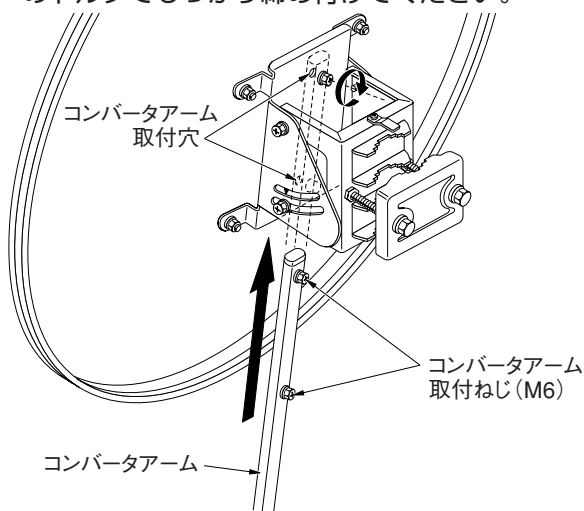
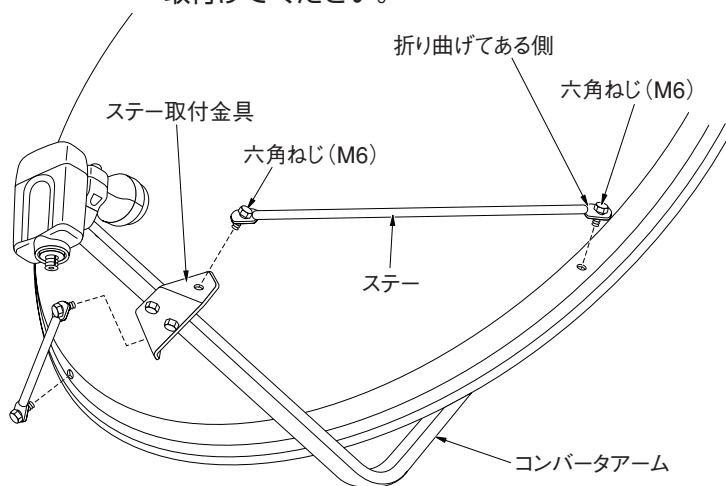
リフレクタ(反射鏡)	コンバータアーム	結束バンド	防水キャップ	取扱説明書・保証書
1個(マスト取付金具付)	1セット(ステー付) ステー 2本	長さ150㎜ 2本 長さ380㎜ 1本	1個 ※ **CS-757S**は2個	各1部

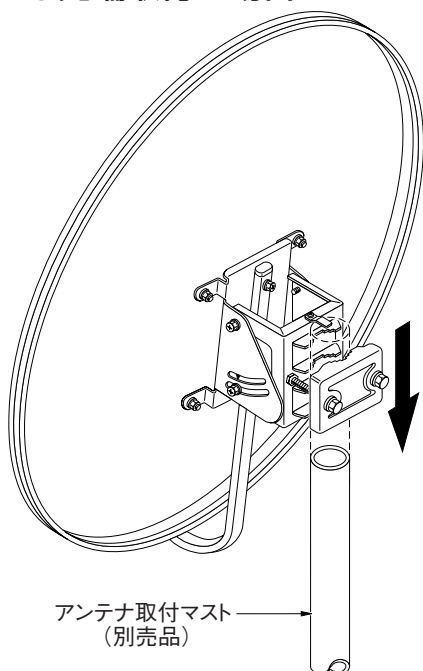
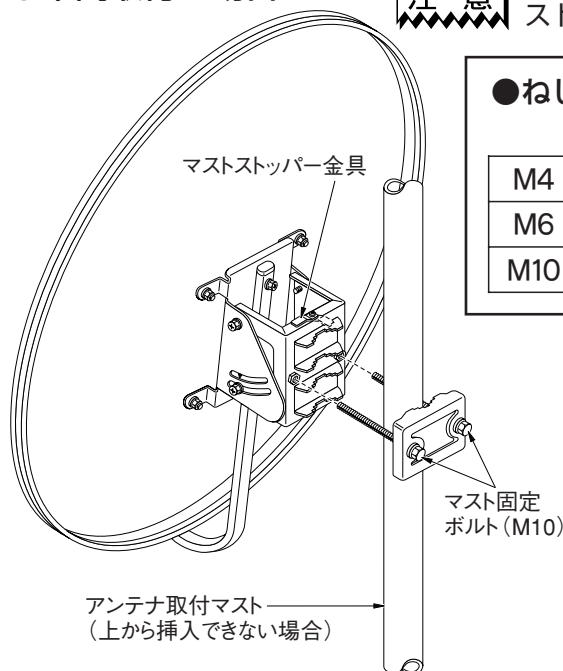
❹ 組立てと取付けかた

用意する工具及びテープ類
- 安全ヒモ(約1m)
- プラスドライバー(大)
- モンキーレンチ(小)
- 六角レンチ
- はさみまたはカッター
- ペンチ・ニッパー
- ビニールテープ
- 自己融着テープ

1 ステーおよびコンバータアームの取付け

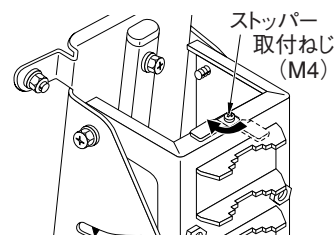
コンバータアームをコンバータアーム取付ねじ(2本)でコンバータアーム取付穴にプラスドライバーで締めた後、六角レンチ等で基準のトルクでしっかり締め付けてください。

コンバータアーム取付穴
コンバータアーム取付ねじ(M6)
コンバータアーム

アーム取付後、付属のステー(2本)をステー取付金具に六角ねじで、確実に取付けてください。ステー(2本)は、折り曲げてある側を反射鏡側に取付けてください。

2 マストへの取付け

注意 φ60.5㎜ 未満のマストをご使用になる場合は、強度及び安全を十分確認してください。
仰角が55° 以上の地域では、中間取付はできません。

●先端取付の場合　**●中間取付の場合**

注意 マスト取付金具、アンテナ取付マストは垂直にたててください。

●ねじの締付けトルクの基準

(単位:N・m)

M4	1.9～2.1(19～21kgf・cm)
M6	4.7～5.1(48～52kgf・cm)
M10	25.5～26.5(260～270kgf・cm)

①先端取付けの場合は、マスト固定ボルト(M10)2本をゆるめ、図のようにアンテナ取付けマストの上部から挿入し、適切な位置で落下しない程度に六角レンチ等で仮止めします。アンテナ調整後、基準のトルクで締め付けてください。

②取付けマストの中間に取付ける場合(上から挿入できない状態)は、マストストッパー金具の向きを変え、固定金具をいったん取り外し、任意の位置で再度固定金具を当ててマスト固定ボルト(M10)で固定してください。

❺ 接栓のつなぎかた

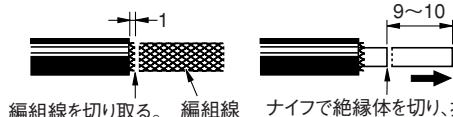
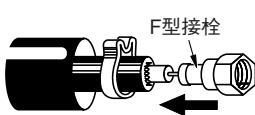
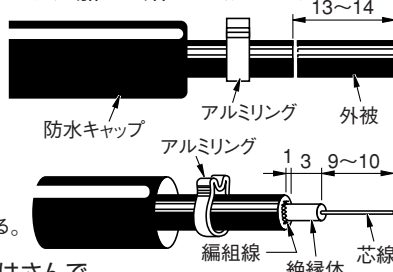
- 芯線と編組線とをショートさせないように注意しましょう。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、芯線に傷をつけますと断線の原因となります。また、このとき芯線が指に突き刺さらないように注意してください。
- ケーブルは5Cまでを使用してください。(7Cは使用しないでください。)

1 F型接栓の取付方法と防水キャップの取付け

●ケーブル加工法　(単位：mm)

①あらかじめアルミリングをケーブルに通しておきます。外被をナイフ等で取り除きます。

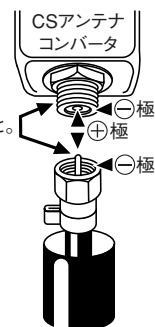
②編組線を指定寸法に切り取った後、絶縁体をナイフで切り、抜き取ります。

必ずケーブルに防水キャップを通してから、ケーブル加工を始めてください。

③F型接栓を編組線と絶縁体の間へさし込みます。

④アルミリングをペンチ等ではさんで締め付けます。

芯線の長さは接栓より1〜2㎜出たところで切断します。芯線の先端を斜めにカットすると挿入しやすくなります。

注　意

ケーブルをアンテナに脱着する際には、CSコンバータへの送出電源を必ず〈OFF〉にしてください。電源が〈ON〉の状態でショートさせますと、CSチューナ・CSテレビ等からCSコンバータへの電流は、安全装置により自動的に停止します。万一ショートさせた際には、CSチューナ・CSテレビ等のコンセントを一度抜いてから再び差し込むと正常に復帰します。

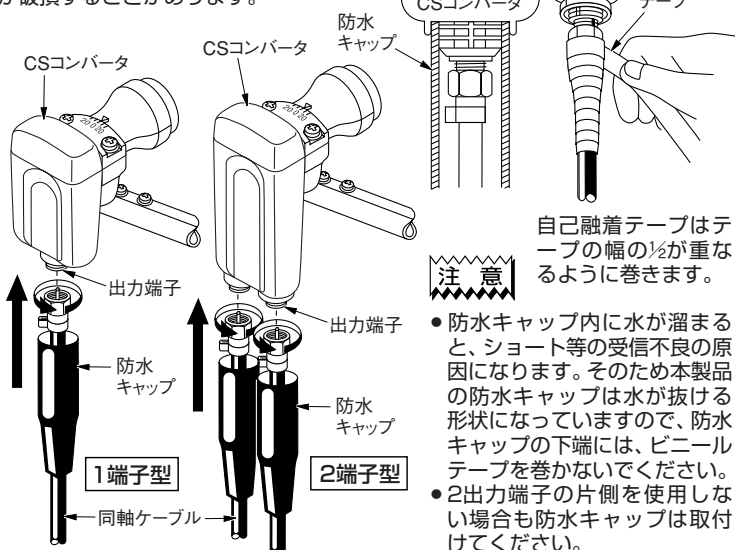
この部分を接触させないこと。

※ケーブル接栓の芯線(⊕極)をCSアンテナコンバータ出力端子外側の⊖極に接触させるとショートします。

❻ ケーブルのつなぎかた

1 CSコンバータとケーブルの接続

●右上の 注　意 事項をよく読んでから作業してください。

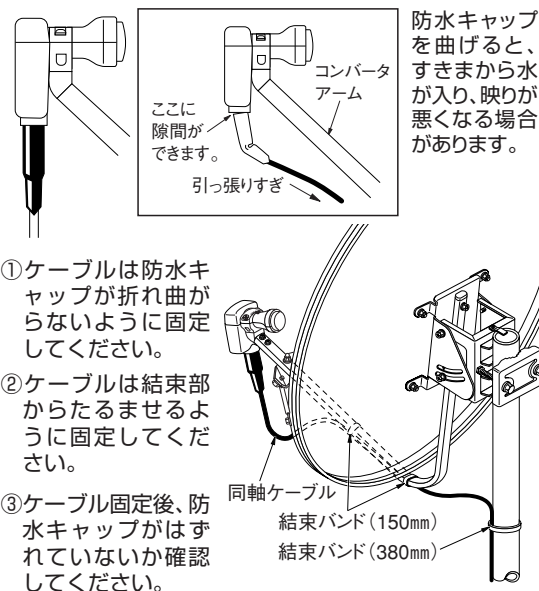
接栓締め付けトルクの目安は約2.0N・m(20kgf・cm)です。接栓部の締め付けが弱いと防水性が劣り、逆に強すぎるとCSコンバータが破損することがあります。

自己融着テープはテープの幅の½が重なるように巻きます。

注　意

- 防水キャップ内に水が溜まると、ショート等の受信不良の原因になります。そのため本製品の防水キャップは水が抜ける形状になっていますので、防水キャップの下端には、ビニールテープを巻かないでください。
- 2出力端子の片側を使用しない場合も防水キャップは取付けてください。

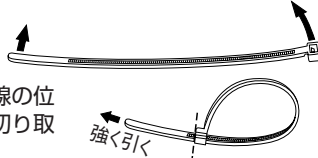
❺−❶で加工した接栓をCSコンバータ出力端子に接続し、モンキーレンチ(スパナ)等で締付けた後、防水キャップを奥に突き当るまでしっかり挿入して完了です。また、塩害地、雨が多い地域では、雨水の浸入を防ぎ、性能を維持するために、防水キャップを取付ける前に別売りの自己融着テープを巻き、さらにビニールテープを巻きつけた後、防水キャップを取付けることをおすすめします。

2 ケーブルの固定

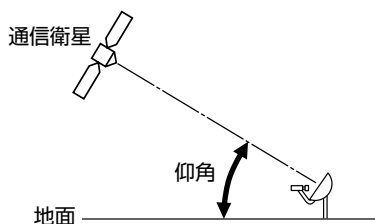
防水キャップを曲げると、すきまから水が入り、映りが悪くなる場合があります。

①ケーブルは防水キャップが折れ曲がらないように固定してください。

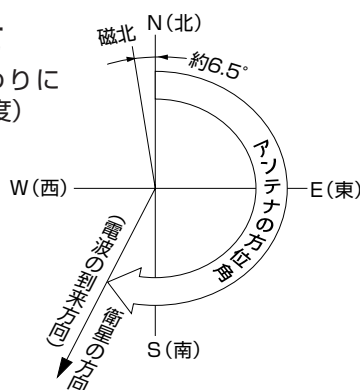
②ケーブルは結束部からたるませるように固定してください。

③ケーブル固定後、防水キャップがはずれていないか確認してください。

- 結束バンドをギザギザのある面を内側にして差し込んで使用します。
- バンドの余りは点線の位置でニッパー等で切り取ってください。

❼ 仰角と方位角について

●仰角について

（受信点から衛星を見上げた角度）

●方位角について

（真北から東まわりに測った衛星の角度）

●方位磁石で方位角を求める場合

①まず、磁針で北を求めます。

②求めた磁北は、西偏角により西に約6.5度ずれています。

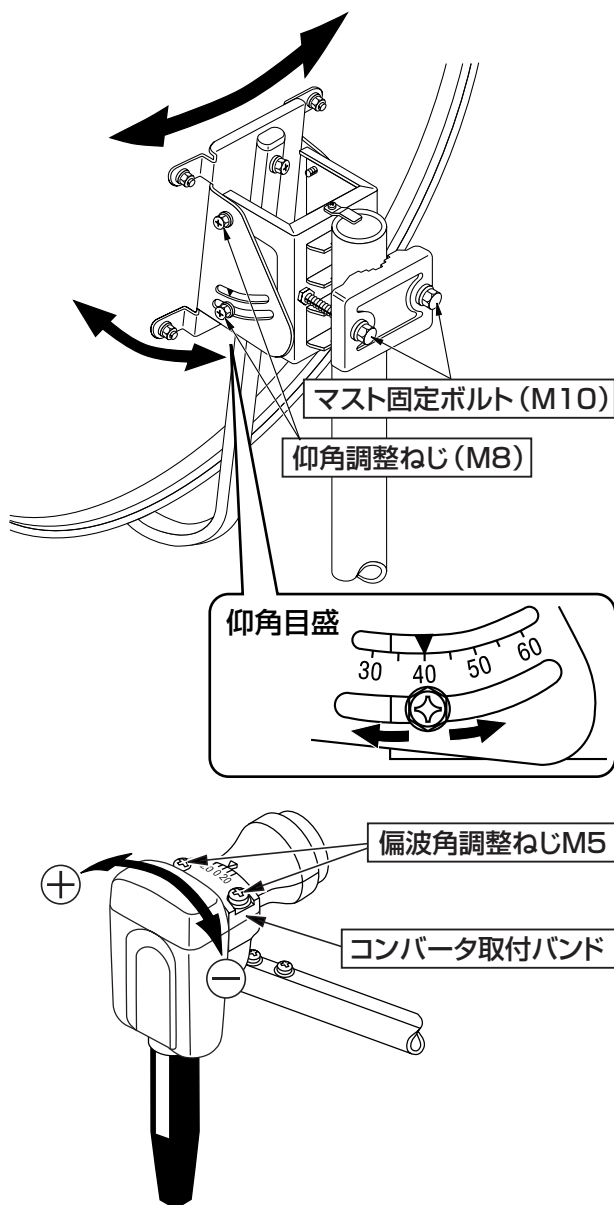
③方位角に西偏角（約6.5度）を加えた補正値が磁北からの衛星の方向になります。

■主な都市の方位角、仰角、偏波角

	SCC〈スーパーバード〉B号（東経162度）			SCC〈スーパーバード〉C号（東経144度）			JCSAT-2号（東経154度）			JCSAT-3号（東経128度）			JCSAT-4号（東経124度）		
受信地	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）
札幌	151	36.1	10.3	176.1	40.5	9.1	162	38.6	16.8	199.2	38.5	13.9	204.6	37.3	17.7
旭川	153	35.8	11.7	177.6	39.7	10.3	163	38.1	18.1	200.3	37.5	14.5	205.7	36.3	18.2
稚内	153	33.9	12.1	176.7	37.9	9.7	163	36.2	18.1	198.9	36.0	13.1	204.1	34.9	16.7
根室	156	38.3	13.8	182.3	40.2	10.3	168	40.3	20.9	204.8	37.0	17.8	210.0	35.5	21.3
帯広	154	36.9	11.9	178.9	40.7	11.2	164	39.2	18.6	201.8	38.2	15.8	207.1	36.8	19.5
函館	150	37.0	8.9	175.1	41.8	8.4	161	39.8	15.6	198.8	40.1	13.9	204.3	38.8	17.9
青森	149	38.0	8.3	175.1	42.9	8.3	160	40.8	15.2	199.1	41.1	14.3	204.7	39.8	18.5
盛岡	149	39.2	7.8	175.6	44.2	8.6	160	42.1	15.0	200.1	42.1	15.3	205.8	40.8	19.6
仙台	148	40.4	6.5	175.0	45.8	8.1	159	43.5	14.0	200.3	43.7	15.8	206.1	42.3	20.2
秋田	148	38.7	6.8	173.9	44.1	7.3	159	41.8	13.9	198.6	42.4	14.2	204.3	41.1	18.5
山形	147	40.2	5.9	174.1	45.7	7.4	159	43.4	13.3	199.5	43.9	15.2	205.4	42.5	19.6
福島	147	40.7	5.6	174.2	46.3	7.5	159	43.9	13.2	199.9	44.3	15.6	205.8	43.0	20.1
水戸	146	42.0	4.5	174.0	47.8	7.2	158	45.4	12.4	200.5	45.8	16.4	206.5	44.4	21.1
宇都宮	146	41.5	4.1	173.1	47.6	6.5	157	45.0	11.8	199.5	45.8	15.5	205.6	44.4	20.3
前橋	145	41.3	3.1	171.7	47.7	5.4	156	44.9	10.7	198.3	46.2	14.6	204.4	44.9	19.4
浦和	145	42.1	3.2	172.6	48.4	6.0	156	45.6	11.1	199.4	46.6	15.6	205.6	45.2	20.5
千葉	145	42.5	3.5	173.2	49.3	6.5	157	46.0	11.5	200.3	46.7	16.3	206.4	45.3	21.2
東京	145	42.3	3.2	172.7	48.5	6.1	157	45.8	11.1	199.7	46.8	15.9	205.9	45.3	20.7
横浜	145	42.5	2.9	172.5	48.8	5.9	156	46.1	10.8	199.6	47.0	15.8	205.8	45.6	20.7
新潟	145	39.9	4.4	171.9	46.0	5.7	157	43.3	11.7	197.6	44.6	13.8	203.6	43.3	18.4
富山	142	40.0	1.6	168.7	47.0	3.0	153	43.8	8.8	195.2	46.4	12.1	201.5	45.2	17.1
金沢	141	40.0	0.8	167.7	47.1	2.2	152	44.0	7.9	194.4	46.6	11.5	200.7	45.5	16.5
福井	141	40.0	0.2	166.9	47.6	1.5	151	44.1	7.3	193.8	47.3	11.1	200.2	46.2	16.2
甲府	143	41.6	2.0	170.7	48.4	4.5	155	45.4	9.6	197.8	47.1	14.3	204.1	45.8	19.3
長野	144	40.6	2.5	170.3	47.2	4.3	155	44.2	9.9	196.8	46.2	13.4	203.0	44.9	18.2
岐阜	141	40.9	0	167.6	48.4	2.0	152	44.9	7.4	194.9	47.9	12.1	201.4	46.7	17.3
静岡	142	42.2	1.2	170.2	49.1	4.1	154	46.0	9.0	197.8	47.9	14.5	204.1	46.6	19.6
名古屋	141	41.2	0	167.9	48.7	2.1	152	45.3	7.4	195.2	48.1	12.4	201.7	46.9	17.6
津	140	41.4	−0.9	167.0	49.1	1.4	151	45.5	6.5	194.7	48.7	12.1	201.3	47.5	17.4
大津	140	40.7	−1.2	164.7	48.5	0.4	150	44.9	6.0	193.5	48.5	11.0	200.1	47.4	16.3
京都	139	40.6	−1.3	165.7	48.6	0.4	150	44.8	5.9	193.4	48.5	10.9	200.0	47.5	16.2
大阪	139	40.8	−1.8	165.2	48.9	0.0	150	45.1	5.4	193.0	48.9	10.7	199.7	47.9	16.1
神戸	138	40.6	−2.1	164.7	48.8	−0.5	149	44.9	5.0	192.5	49.0	10.3	199.2	48.0	15.7
奈良	139	41.0	−1.5	165.8	48.9	0.4	150	45.2	5.7	193.6	48.9	11.1	200.2	47.8	16.5
和歌山	138	41.0	−2.6	164.5	49.3	−0.7	149	45.4	4.5	192.6	49.5	10.4	199.4	48.5	15.9
鳥取	138	39.3	−2.2	163.4	47.7	−1.4	148	43.6	4.6	190.7	48.3	8.7	197.3	47.4	14.0
松江	136	38.6	−3.2	161.8	46.6	−2.5	147	43.1	3.4	188.7	48.5	7.1	195.4	47.7	12.5
岡山	137	39.8	−3.2	162.6	48.5	−2.2	147	44.3	3.6	190.4	49.3	8.5	197.1	48.4	14.0
広島	135	39.0	−4.9	160.0	48.4	−4.3	145	43.8	1.7	187.9	49.8	6.5	194.8	49.1	12.1
山口	134	38.6	−5.9	158.3	48.3	−5.7	144	43.5	0.5	186.2	50.1	5.1	193.2	49.5	10.8
徳島	134	38.8	−5.8	163.4	49.3	−1.6	144	43.6	0.6	191.6	49.8	9.6	198.4	48.8	15.2
高松	137	40.2	−3.5	162.6	48.9	−2.2	147	44.7	3.4	190.7	49.6	8.8	197.5	48.7	14.3
松山	135	39.7	−5.1	160.3	49.1	−4.2	145	44.5	1.6	188.5	50.4	7.1	195.5	49.6	12.8
高知	136	40.5	−4.7	161.4	49.6	−3.3	146	45.2	2.2	190.0	50.6	8.3	196.9	49.7	14.0
福岡	133	36.8	−5.2	156.2	48.5	−7.5	143	41.6	0.7	184.3	50.9	3.6	191.5	50.4	9.5
佐賀	132	38.5	−7.7	155.9	48.8	−7.9	141	43.6	−1.5	184.2	51.3	3.5	191.4	50.7	9.5
長崎	132	37.1	−6.5	154.9	49.2	−8.8	142	42.2	−0.5	183.5	51.9	2.9	190.8	51.4	9.1
熊本	132	39.1	−7.8	156.4	49.4	−7.6	142	44.3	−1.4	185.0	51.8	4.2	192.3	51.2	10.3
大分	133	39.4	−6.7	158.1	49.3	−6.1	143	44.4	−0.2	186.6	51.2	5.5	193.7	50.5	11.4
宮崎	132	40.3	−8.2	157.0	50.6	−7.3	142	45.5	−1.6	186.5	52.7	5.5	193.9	52.0	11.7
鹿児島	131	39.9	−9.3	155.3	50.6	−8.7	140	45.3	−2.9	184.9	53.1	4.2	192.4	52.6	10.5
那覇	123	41.2	−17.8	146.3	54.5	−17.7	132	47.6	−11.9	179.3	59.4	−0.7	188.3	59.1	7.4
石垣島	118	39.3	−20.4	138.2	54.3	−25.4	126	46.2	−18.6	170.7	61.2	−8.4	180.4	61.6	0.3

❽ CSアンテナの調整

1 チューナとテレビによる調整

注意 通信衛星の位置は互いに接近していますので受信する衛星を間違えないよう、アンテナの向きは十分注意してください。このCSアンテナと接続するCSチューナは、必ず電圧切換(偏波面切換)対応品をご使用ください。

①仰角の設定
別表(P.6)の仰角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の仰角値を求めます。
次に仰角調整ねじをゆるめ、取付金具の側面に示してあります仰角目盛に三角穴の先端を合わせて、仰角調整ねじを均等に基準のトルクで締め付けてください。

②方位角の設定
別表(P.6)の方位角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の方位角値を求め、市販の磁石を用いて、アンテナを左右にゆっくり振ります。このとき、CSチューナのレベル値が最大、またはテレビ画像が最良となる位置でマスト固定ボルトを均等に基準のトルクで締め付けてください。

③受信できない場合
①②の手順で電波が受信できないときはアンテナの位置がずれているためです。①②をくりかえし調整してください。

④偏波角の設定
通信衛星の電波は直線偏波のため、受信する地域により偏波面の傾き角度が異なります。
そのため鮮明な画像を受信するには、偏波角の調整が必要になります。偏波角の調整は別表(P.6)の偏波角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の偏波角を求めます。次に偏波角調整ねじをゆるめてコンバータ取付バンド上面の目盛にコンバータ上部の△マークの先端を合わせ、その近辺でコンバータを左右に少しずつ回転させ、CSチューナのレベル値が最大、またはテレビ画像が最良となる位置で偏波角調整ねじを均等に基準のトルクで締め付けてください。
これで調整は完了です。CS放送をお楽しみください。

●ねじの締付けトルクの基準(単位:N・m)

M5	2.9〜3.9(30〜40kgf・cm)
M8	12.7〜13.1(130〜134kgf・cm)
M10	25.5〜26.5(260〜270kgf・cm)

注意

- コンバータはCSデジタルチューナから給電される電圧によって偏波面を切り換えるコンバータで、垂直偏波の場合は約11V、水平偏波の場合は約15Vで切りかわります。
(詳細はチューナの取扱説明書を参照してください。)
- V/H切換方式(電気方式)対応のチューナを接続して調整する場合は、チューナのチャンネルを選択すれば自動的に電圧が切り換わり、受信するチャンネルの偏波に変換されます。
(コンバータの規格は、水平偏波:DC13.5〜16.5V　垂直偏波:DC9.5〜12.0V)

●偏波について

通信衛星の電波には、水平偏波(H)と垂直偏波(V)の2種類の偏波があります。
受信する番組によって混信を受けたり、アンテナ利得が低下したりしますので、受信地域により、偏波の角度を調整しなければなりません。設置場所から衛星を見て右回りが⊕プラス、左回りが⊖マイナスになります。

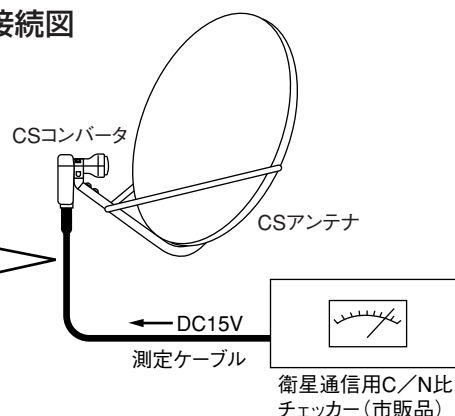
❽ CSアンテナの調整

2 C／N比チェッカー(レベル計)の接続

CSコンバータと衛星通信用C／N比チェッカーを右図のように接続してください。
CSコンバータの出力コネクタとC／N比チェッカーを同軸ケーブルで接続し、チェッカーのチャンネルを衛星受信チャンネルに合わせてください。

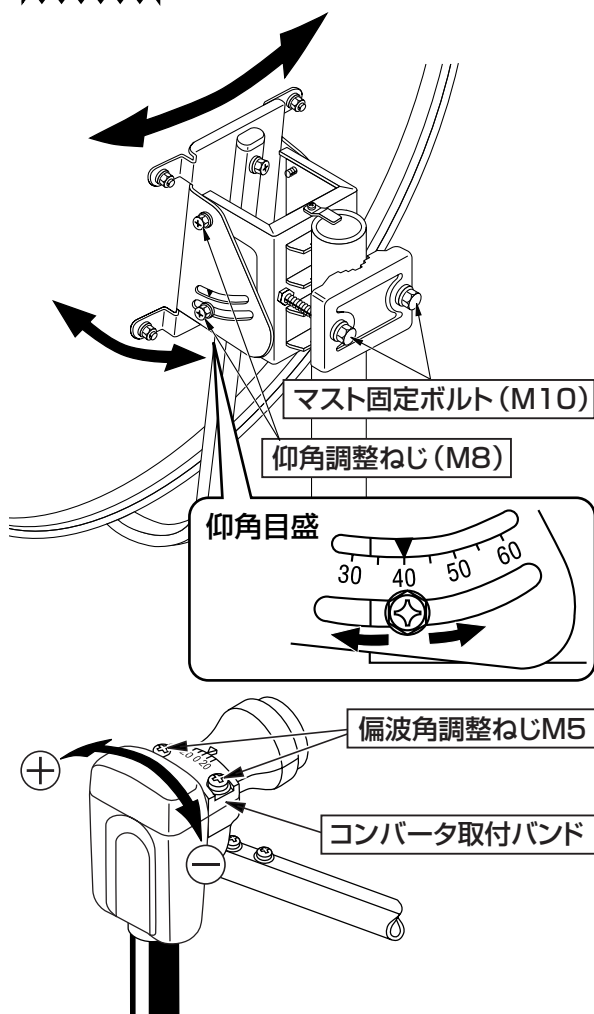
注 意

デジタル衛星放送を受信する場合は、C/N比チェッカーはデジタル対応のものをご使用ください。

●接続図

3 C／N比チェッカーによる調整

注 意 通信衛星の位置は互いに接近していますので受信する衛星を間違えないよう、アンテナの向きは十分注意してください。

●ねじの締付けトルクの基準(単位:N･m)

M5	2.9～3.9(30～40kgf･cm)
M8	12.7～13.1(130～134kgf･cm)
M10	25.5～26.5(260～270kgf･cm)

①仰角の設定
別表(P.6)の仰角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の仰角値を求めます。
次に仰角調整ねじをゆるめ、取付金具の側面に示してあります仰角表示目盛に三角穴の先端を合わせて、仰角調整ねじを均等に基準のトルクで締め付けてください。

②方位角の設定
別表(P.6)の方位角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の方位角値を求め、その付近に合わせます。その後、C／N比チェッカーのメーターを見ながらゆっくりとアンテナを左右に回転させ、メーターの針の振れが最大になる位置でマスト固定ボルトを均等に基準のトルクで締め付けてください。

③受信できない場合
①②の手順で電波が受信できないときはアンテナの位置がずれているためです。①②をくりかえし調整してC／N比チェッカーのメーターの針の振れが最大になる位置で基準のトルクで締め付けてください。

④偏波角の設定
通信衛星の電波は直線偏波のため受信する地域により、偏波面の傾き角度が異なります。そのため鮮明な画像を受信するには、偏波角の調整が必要になります。
偏波角の調整は別表(P.6)の偏波角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の偏波角を求めます。次に偏波角調整ねじをゆるめてコンバータ取付バンド上面の目盛にコンバータ上部の△マークの先端を合わせ、その近辺でコンバータを左右に少しずつ回転させ、C／N比チェッカーのメーターの針の振れが最大になる位置で基準のトルクで締め付けてください。

⑤画像の確認
コンバータとCSチューナを接続して画像を確認してください。良好であれば完了です。

❾ CSについて

CSは『コミュニケーションズ・サテライト＝通信衛星』の略称です。
衛星の位置は赤道上空約35,800kmに静止しています。

●デジタル衛星放送

JCSAT-3、JCSAT-4号から170チャンネルを越える多チャンネル放送のスカイパーフェクTV！があります。

●CS PCM音楽放送

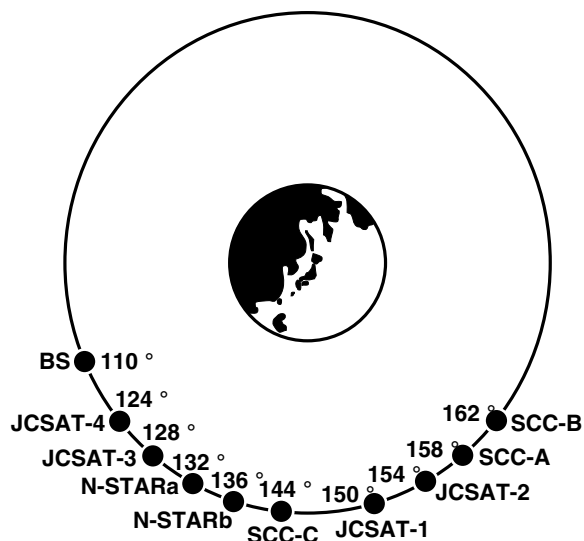
CS PCM音楽放送は、JCSAT-2号機から配信されています。特徴はPCM（Pulse Cord Modulation＝パルス符号変調の略称）のBモードを使用し、CDを超える高音質音声を全国へお届けしています。

●BS放送

BS放送には、テレビ放送、音楽放送、ハイビジョン放送があります。テレビ放送は、NHKとWOWOWが現在配信しています。音楽放送はWOWOWのトランスポンダ（中継器）の一部を使って配信しています。ハイビジョン放送は、ハイビジョンテレビに接続することにより、受信できます。

●BSデジタル放送

BSデジタル放送では、ワイドで高画質な「デジタルハイビジョン放送」で多彩な番組を配信するほか、生活に便利な「データ放送」や高品質な「デジタル音声放送」などを配信しています。

●静止衛星（放送衛星と通信衛星）の位置

⑩ アフターサービスについて

修理を依頼される前に下記のことをお確かめください。

このようなとき	対　　　策
テレビで確認したら画像も音声も出ない	●CSアンテナの向きがズレていないか再度確認してください。 ●同軸ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●CSチューナ等のCSコンバータ用電源スイッチが「入」または「連動」になっているか確認してください。 （お手持ちのCSチューナ等の説明書を参照）
テレビ画像にノイズが現れる	●CSアンテナの向きがズレていないか再度確認してください。 ●雨、雷雲、積雪などによる電波の減衰が考えられます。 ●強風時のCSアンテナの揺れによる場合もあります。 ●同軸ケーブルの劣化も考えられます。

注　意　上表に従って調べていただき、直らないときは、必ずCSチューナ等の電源プラグを抜いてください。

1 保証書 〈別に添付してあります〉	保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容を良くお読みの後、大切に保管してください。（保証書がありませんと無料修理の保証期間中でも代金を請求される場合があります。）
2 保証期間	お買い上げの日から本体1年間です。
3 アフターサービス等についておわかりにならないとき	お買い上げの販売店または、お近くの弊社支店・営業所にお問い合わせください。
4 保証期間中は	保証書の規定に従って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。正常な使用状態で故障した場合には、弊社または弊社の指定するサービス機関が無料修理いたします。 お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの弊社支店・営業所にご連絡ください。
5 保証期間が過ぎているときは	お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。 販売店にご依頼にならない場合には、お近くの弊社支店・営業所にご連絡ください。
6 補修用性能部品の最低保有期間	このCSアンテナの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低5年間保有しております。

修理を依頼されるときには次の内容をご連絡ください。

ご　氏　名		型　　名	CS-753S／CS-757S
ご　住　所		お買い上げ年月日	保証書に書いてあります。
電話番号		故障内容	なるべく詳しくお知らせください。
製　品　名	CSアンテナ		

⑪ アンテナの保守とお手入れ

■反射鏡面の注意

- 本アンテナ反射鏡面は太陽光を反射させにくい表面仕上げとなっています。新たに塗装やシール類の貼り付けを施しますと反射鏡面、コンバータを破損することがありますので、絶対に行わないでください。
- 表面にボールや竿等で衝撃を与えたりキズをつけないでください。
- お湯をかけないでください。
- よごれは、柔らかい布で軽くふいてください。水は、問題ありませんが、シンナーやベンジンなど揮発性のものでふいたりしますと表面を傷めますので、使用しないでください。（変質、変色のおそれがあります。）

■コンバータの防水ケースは絶対に開けないでください。

ケースを開けますと防水性が悪くなり、また規格の性能が得られなくなります。

- エッジキャップは、反射鏡端面で手などを切らないように安全を考慮して取付けてあります。
  設備の補修メンテナンス時に、ヒビ割れ、ハガレ、脱落などありましたら、補修パーツとして用意しておりますのでお取り替えください。

- アンテナポール、取付金具などは、本機に合った部材をご使用ください。

注意

- **表示された電源電圧以外でご使用にならないでください。**
- **アンテナに無理な力を加えたり、ぶらさがったりしないでください。**
- **故障やコンバータから煙や、へんな臭いがするなどの異常なときは、すぐに使用をおやめください。**

メモ

（お客様へ……記録のため、記入されると便利です。）

お買い上げ年月日	年　　月　　日	型名	CS-753S／CS-757S
お買い上げ店名	電話(　　　　)　　　－		
最寄りのご相談窓口	電話(　　　　)　　　－		

※本機を使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
（This CS antenna set can not be used in foreign country as designed for Japan only.）

⑫ 仕様

項目＼機種名	CS-753S	CS-757S
受信周波数範囲	12.20～12.75GHz	
受信偏波	直線偏波（水平・垂直）	
アンテナ口径	75㎝	
アンテナ利得	38.3dBi（標準）	
性能指数（G／T）	17.8dB／K（標準）	
雑音指数	0.8dB（標準）	
出力周波数	1000～1550MHz	
コンバータ総合利得	54±4dB	
位相雑音（dBc／Hz）	1KHz OFFSET −47以下 5KHz OFFSET −65以下 10KHz OFFSET −75以下	
出力構造	防水F型レセプタクル（75Ω，C-15相当）	
耐風速	20m／sec以下 受信可能（利得低下1dB以下） 40m／sec以下 再調整復元可能 60m／sec以下 非破壊	
使用温度範囲	−30℃～+50℃	
電源	水平偏波：DC13.5～16.5V 垂直偏波：DC 9.5～12.0V	
消費電流	150mA以下	210mA以下
寸法	幅804㎜×高さ904㎜×奥行914㎜（マスト径φ89.1㎜，仰角45°の場合）	
質量（重量）	7.6㎏	7.7㎏
適合マスト径	φ48.6～φ89.1㎜	
付属品	●結束バンド ℓ＝150㎜ 2本 ℓ＝380㎜ 1本 ●防水キャップ 1個（※CS-757Sは2個） ●取扱説明書・保証書 各1部	

●製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

●製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

■支店
東　京☎(03)3893-5371
名古屋☎(052)822-3321
大　阪☎(06)6928-3461
福　岡☎(092)584-1751
■営業所
札　幌☎(011)865-8522
盛　岡☎(019)625-3128
仙　台☎(022)390-0255
郡　山☎(024)921-6011
宇都宮☎(028)663-4191
高　崎☎(027)361-1041
水　戸☎(029)253-6901
長　野☎(026)244-3135
さいたま☎(048)651-7361
千　葉☎(043)265-6401
多　摩☎(042)540-1100
横　浜☎(045)324-3241
平　塚☎(0463)53-0620
静　岡☎(054)238-1200
浜　松☎(053)462-8521
広　島☎(082)292-2747
高　松☎(087)865-0945
熊　本☎(096)358-6211
北九州☎(093)611-5258
鹿児島☎(099)260-9666
■出張所
釧　路☎(0154)24-7410
塩　尻☎(0263)53-5221
川　崎☎(044)854-2328
神　戸☎(078)978-5545
岡　山☎(086)241-9808
■事務所
神　田☎(03)5295-0051

QT347 平成13年11月印刷